

「令和6年度予算編成方針」及び「青森市財政プラン（2019～2023）ローリング版」の概要

令和6年度予算編成方針

1 予算編成の方向性

- ◇ 「市民力+民間力 AOMORI 次なる舞台へ」のスローガンの下、市民一人ひとりが力を合わせ、市民全員が参加して市政を作り上げていく市民力、そして、民間の企業や団体が力を合わせる民間力、その二つの力を集結させて、青森市を「みんなで未来を育てるまちに」するため、「仕事をつくる」「人をまもり・そだてる」「まちをデザインする」の三つを柱とし、人口減少に立ち向かい、次なるステージに進むための未来を育む事業への予算の重点化を図る。

2 マイナスシーリングの廃止（5%→0%）

- ◇ 限られた財源を有効活用し、事業の選択と集中を図りながら、足下の物価高騰による市民生活への影響を踏まえた予算編成を行うため、一部の政策的経費を対象として昨年度実施したマイナスシーリングを廃止する。

持続可能な財政運営の確立

青森市財政プラン（2019～2023）ローリング版

1 R8 末 財源調整の「基金」60 億円確保

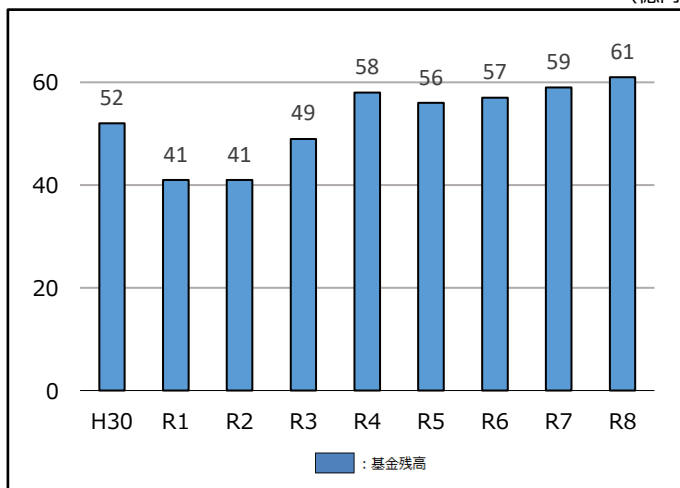
- ◇ 財源調整のための基金について、物価の高騰など支出の増加があるものの、国・県及び本市の経済対策や、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う経済活動の再開による税収の確保等により、令和8年度末の基金残高は60億円確保。

2 R8 末「市債残高」の大幅縮減 △237 億円

- ◇ 引き続き市債発行額の抑制に努め、H30年度決算と比較して、R8年度末市債残高（臨時財政対策債を除く）は237億円（872→635億円）の縮減。

【グラフ①】財源調整のための基金残高の推移

(億円)



【グラフ②】市債残高の推移

(億円)

